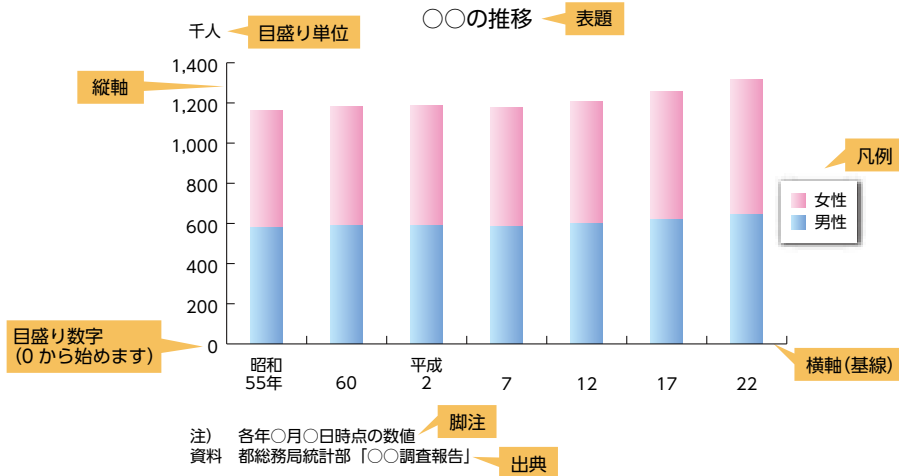


# 統計グラフの見方

## 1. グラフの基本構造



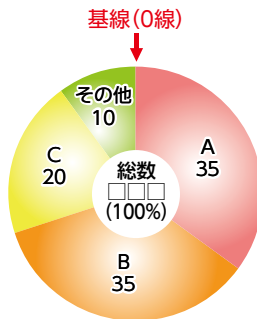
## 2. グラフの見方

### (1) 項目の並び順

- ①項目に並べるきまりや慣例がある場合は、それに従って、並べています。  
ア. 産業では、農業、林業、漁業、鉱業、・・・(日本標準産業分類)の順に並べます。  
イ. 都道府県では北から南に向けて、北海道、青森県、岩手県、・・・の順に並べ、東京都は13番目になります。
- ②特にきまりや慣例を必要としない場合は、大きいものから小さいものに並べ、「その他」を最後に設定します。また古い年次から新しい年次へと並べます。

### (2) 総数に対する内訳(構成比率)を表す場合

円グラフで円全体を100%として、いくつかに分割し、それぞれの内訳面積の大小によって数値を表します。実数を記載する場合は、ドーナツグラフにし、内円に記載します。ドーナツグラフは内円に「%」を表示するので、外円には「%」を表示しません。



### (3) 数値の差が少ないか、又は差が非常に大きい場合

グラフの目的に応じて省略記号(波線等)をはさみ、差を強調しています。  
波線を用いて省略した部分が大きいほど、実態とかけ離れたグラフになっているため、読みとる際には注意が必要です。

## 3. グラフの種類

| 種類                                      | 特徴                                     |
|---|--|
| ① 単純比較グラフ<br>(単位グラフ・面積グラフ・体積グラフ・棒グラフなど) | 二つ以上の数量間の差や比、大小の順序などを比較・観察するときに適しています。 |
| ② 線グラフ<br>(折れ線グラフ・レーダーチャートなど)           | 数量の時系列(注)の変化を観察するときに適しています。            |
| ③ 百分比グラフ<br>(円グラフ・帯グラフなど)               | 構成比の観察に適しています。                         |
| ④ その他<br>(相関グラフ・度数分布グラフなど)              | 2種類のデータの関係やデータの散らばり具合を見るのに適しています。      |

注) 時系列とは、時間の経過に沿って並べることです。

### 利用上の注意

#### (1) グラフで用いているデータ

特に明記がない場合は、東京都の数値です。

#### (2) 総数を見る際の注意

- ・構成比を表す円グラフや積み上げ棒グラフの内訳は、小数点第一位まで表示してあります。そのため、端数処理の関係で、内訳の和が100%にならない場合があります。
- ・数字の単位未満は、四捨五入することを原則としています。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合があります。